

タレントとして活躍している傍ら・・・傍らというのも失礼でしょうか。いろんなことに取り組んでいるようで。絵本書いたり大学いったりショップを開く夢もあるようで。タレントはタレントで。そういう考えを持っていた。

趣味を広げてショップを開いたりするタレントもいたりするのは知っていますので、電車でひよいとどこかに行くときにいってみたりしたいなあとか思ったりもするんですが、心が狭かったのか、そういう固執した考えを持ってしまふんですね。でも、今日のTV見て考えがずいぶん変わりました。僕の好きなタレントっていうのは、ひとつはお笑いタレント、二つ目はビートたけしと合う人・・・合うというより、万物創世期の藤原達也みたいに。漠然として説明が難しい。

最近頭が動かないというか、脳内で濃縮型血液が詰まっている感じで、本当に徒然と書いている感じですので、ご勘弁を。何か見ていいんですよ。またの機会に考えてみます。で、3つ目がいろんなことに取り組んでいる人・・・人生の長い人が多いですが。で・・・結局共通するのは、楽しんで仕事をしている、見てて力が湧いてくる・・・よく笑ってて、しっかりした考えをもってる人です。

簡単にまとめて、漠然とした表現になってしまいましたが・・・で、ベッキーもその一人ですね。テンポがよくて、楽しそうに仕事しているようで、見ててこっちも元気が出てきます。カッコイイですよ。単にまねしてみたいとか、お手本にしようというので言っている訳では無いです。世界が違うのは知ってます。よしあしは無いですけど。軸が違うのなら、比べられない。

実数と虚数の大小をつけられないのに似ている。ですが、考えは広いほうがいい。それに、僕の生き方である「広く深く・・・いろんなことに挑戦して、極める、楽しむ」という考えにお手本になる部分もあるんですよ。一回きりの道楽が人生なんですから。何も考えずに生きて、夕方4時にスーパー「フレックス大芝」に買い物に行つて7時に夕ご飯を食べてTVを見て笑うのが一番楽な生き方だと思えます。何も考えないのが一番幸せ・・・そういいかけていいのでしょうか。生き方はいろいろあるし、よしあしもつけないし、「良い」という簡単な言葉でいうと、互いによい干渉をすればそれでいいのかと思いますが、はつきり言わせてもらおうと、いろんなことに挑戦して、人々に考えをぶつけて、さらに自分を広い人間にしていく・・・こちらのほうが楽しいと思えますね。

そういう、「虚数と実数の大小」は無いけど、「数字」という根本な共通はあるのでしょうか。つまり、いろんなことに挑戦すること。人々と意見を交換すること、大人としてみると、それを自分なりに後世に伝える努力をすること・・・結局、先人が何千年も何万年も行ってきたことなんです。生きていけばこういうことは身に付くと思えます。で、これをさらに磨くのが「挑戦」という「行動」では無いのでしょうか。TVは前から1日中つけています。意識せずに・・・万物創世記とか、見る番組は大方決まっていますけど(笑)。きっかけを探し、僕の好きな「ものづくり」をし、それをOLDUSで「知恵」に変えるのが、僕の人生の大切な「行動」です。

最近感動したのは「ダーツの旅」見てていろんな人がいるんだなあとか、がんばってるけど楽しく生きているんだなあとか思ったりしましたし、一方でMATRIXのように哲学的な作品で考えを改めてみたり、ガイアの夜明けで僕の好きな政治経済の知識や考えをつけたり・・・いろんなところにきっかけはあるんですよ。「転がっている」のでは無いと思う。だって、転がらせているのではないんだから。製作者としては、訴えかける物があるから完成度・・・漠然とした言い方でいだけ「価値」ってものを高めることができるんだと思う。妥協しないほどいい物ができるのか・・・あるいはカッ!と稲光のようなフレーズが見る人を感動させるのか・・・考えることはたくさんですが、そういう項目の多いほど、

ユーザ側の注目、ふと気づく要素が増えるんだと思います。でもって、結局、「考え」という言葉で統合すると、軸は広く、長いほうが言い決まっている。これははつきり言わせてもらいたいです。僕のポリシーは、「大は小をかねる」ということ。ただし、物理形状など、「理数」的な分野ではその逆が、えてして選択されるかと思いますが。日本の事情で、日本でモバイルパソコンが好まれるのが良い例です。で、大は小をかねるの意味、僕は、広く深い考えは、狭く浅い考えに化けることもできるので、浅く狭くがいい要素などあまり考えられないわけです。つまり、よしあしを決めるのなら、善しは悪しに勝るおとらず・・・悪しは善しに勝らずということ。

僕も「趣味」は広いですが、今までは楽しければよかった。極めればよかった。そういう考えでした。つまり、興味も√2aなんですね。その後は何かきっかけがないと、新たに続ける理由も発生しなかったのです。これでいい・・・極めたりすれば満足なのかはまだはつきりした答えを得ていませんが。ゲームを極めたら懐かしさなどが手伝わないとやるきっかけが無いでしょう。でも、やって楽しい、極めるという目標、それだけでやっているだけではそこで終わってしまいます。たとえば、スキーをしたい気分が今いっぱいですけど、これは極めたい意識と、過去やった楽しさ、今できない口惜しさというきっかけも手伝っているんですね。で、このままいくと、来年やれたらそれで終わると思います。で、結局またやりたくなったらやる。うまくなったら興味が減ってくる・・・SINカーブですね。

何か続く理由、それを考えたとき、「やる目的」の他に、「得る物」が必要なかと思います。スキーをやる人と話してスキーの楽しさやその人の自己紹介を聞いたり、OFF会を開いたり、OIDUSで楽しさを伝えるだけの得る物があるか・・・など。そういうものも必要なかと思います。結局、楽しむのは楽しいと思う理由が必要だし、極めるには√2aの壁を破って二次関数を描く相当な原動力が必要です。

で、極めるというのは「終わりが無いことを知る」ことでしょうか、「人生をかける」という究極的な選択を迫られます。でもって、これがよいのは、僕は今感じています。ですが、時間が有限なのも知っていますし、同時に複数のことをやっても、各々に意識を集中させるのが難しいのもわかっています。でも、「忙しい」のは、いくつものことをやるのと、ひとつのことをやるのでは同じことです。だから、これこそ人生の究極の選択になるのかと思います。ですが、僕はOIDUSという器を利用して、「広く深く」を選択する。そして、やはり先人の伝えた知恵・・・「基礎」という物をしっかりとわきまえ、一方で同時に「考え」というものを「応用」の根底としておく、こういうことが最高に物事を楽しむ「必要なこと」なのではないでしょうか。

別に、これだけの記事を書けた番組の評価をするのではないし、徒然と書くから素の状態でこれだけの考えを考え抜き出せたのかもしれませんが、TVの楽しさ、すばらしさを伝えるのでもないし、意識してTV番組を見たり、あふれるだけの情報から必要なものを抜き出す能力の育成・・・面倒なことはいいです。僕の・・・OIDUSで伝えたのは、「知恵」ですから。知恵は誰にでも使いやすい知識だという考えで言っています。「メグミ」ですから。恵みですよ。ありがたいじゃあ無いですか。きっかけにもなるし、活用したり、更なる知識を付ける原動力をも生む・・・これが生きる「意味」だと思っています。「目的」では無く。目的はあくまで原動力ですから。

知恵っていいですよ！